

別紙2「防犯カメラ機器仕様」

仕様等	1/3 型相当 CMOS 又は MOS
走査方式	プログレッシブ
使用温度範囲	-20°C~50°C
防塵・防水機能	IP66 以上
最低被写体照度	デイトライト機能を有し、カラー0.03 lx以下 赤外 LED 点灯時は 0.00 lx
プライバシーマスク	10 か所以上
赤外線 LED	照射距離 30m以上
画角	画角を調整する機能を有し、広角最大時、水平 100° 以上、垂直 50° 以上であること。
圧縮方法	H.264、H.265、JPEG 又は MPEG
有効画素数	1920×1080 相当又は 200 万画素以上
時刻補正	自動で補正する機能を有すること
形状	屋外に設置することを考慮した形状、塗色、強度、材質であること。屋外設置可能なズームレンズ、ハウジング一体型のドーム型で防水・防塵対策となるものとする。
映像無線伝送装置	無線 LAN 方式で映像を専用端末に伝送することができる。周波数は、免許不要でかつ屋外使用が可能なもので、5.6GHz 帯を使用する装置を基本構成とし、設置環境によって 5.6GHz 帯の伝送が実現できない場合は、別途協議し対応することとする。また、無線伝送に必要な帯域を十分に確保すること。
映像記録装置	映像記録装置は設置する防犯カメラの映像情報を、デジタル信号にて蓄積する装置で静音設計とすること。録画映像の再生時（コピー後の映像を含む）に撮影日時が表示される機能を持つこと。GPS 等による標準時刻に同期して記録する機能を有する構成とすること。
容量	防犯カメラの映像を同時かつ標準解像度において、毎秒 10 枚以上記録できること。また、この画質で防犯カメラの映像を順次上書き更新しながら、10 日間以上記録できる容量を有すること。
故障検知等機能について	① 故障及び異常が生じた場合に、ランプ表示等により、そのことを外見上容易に視認できる機能を有すること。また、指定のメールアドレスへ発信等を行うことができる機能を有すること。 ② 防犯カメラ本体の録画停止や電源の切断など、カメラ本体の起動状態が変化した際や、無線 LAN の利用による録画画像の取得の際などに、LPWA 回線を通じて LPWA ネットワークへ信号を送信し、その信号を外部サーバに蓄積するとともに、指定のメールアドレス

	<p>レスへのメール発信等を行うことができること。</p> <p>③ 外部サーバに蓄積する信号は過去2年以上の履歴データとすること。</p> <p>④ 防犯カメラの履歴情報を電子データでダウンロードすることができること。</p> <p>⑤ 無線LANの利用による録画画像の取得の際に、LPWA回線を通じてLPWAネットワークサーバへ信号を送信し、その信号を外部サーバに蓄積する際には、防犯カメラへのアクセスに利用した専用端末（ノートパソコン）の情報も含めたものとする。</p> <p>⑥ サーバから発信されるメールアドレスは、5つ以上指定することができること。</p>
セキュリティ	<p>① 防犯カメラはWi-Fiのステルス機能及びMACアドレスフィルタリング機能、WPA2-PSK (AES)を採用し、第三者による無線LANの不正アクセスを防止する処置を講じること。</p> <p>② 防犯カメラはアクセスポイントの管理者用パスワードの設定、更新及び映像データの暗号化により、第三者が安易に再生・編集できない機能を有すること。</p> <p>③ 防犯カメラは、出力の調整等による電波の伝搬範囲の制限が可能な機能を有すること。</p> <p>④ 防犯カメラは特殊ネジ等で固定され、防盜性能に優れたものとする。</p> <p>⑤ データの閲覧、防犯カメラ機器の操作等、各段階における利用可能者のアクセス権限の設定とアクセスログを記録する機能を有すること。</p> <p>⑥ 防犯カメラ本体の通信モジュールは、基盤化の上、本体に組み込むことにより、その取り外しが困難な作りとすること。</p> <p>⑦ カメラの記憶媒体に保存された映像は、専用のソフトウェアを用いて再生するものとし、そのソフトウェア以外では再生ができないものとするとともに、防犯カメラ本体だけでは再生することができない仕組みとすること。</p> <p>⑧ 防犯カメラで撮影した映像ファイルには、パスワードを任意で設定できる仕組みとするとともにメーカーの独自フォーマットで記憶媒体に保存するものとし、その専用のソフトウェアが必要となる仕組みとすること。</p>